

いやしむるものに候間、成程身持を能仕るべき事
 一^{いっそん}村の内にて耕作に精をいれ、身持ちをよくいたし、
 身上よきもの一人あれば其まねを仕り、郷
 中のものみな、よくかせぐものに候、一郡の内
 にて、さようなる在所^{そのじよ}一村これあれば、一郡
 みな身もちをかせぎ候、左候えば一国の民みな
 豊^{ゆたか}になり、其後は隣国までもそのひびき

★いやしむる（卑しむる…見下げる、さげすむ）

成程（なるほど…できるだけ、可能な範囲で）

あり、地頭はかわるもの、百姓は末代其所の名
 田を便^{たより}とするものに候間、よく身持ちを致し、
 身上よく成候は、百姓の大きな徳分にては
 これなく候や、扱^{あて}又一郷に徒^{ただひ}なる無法もの
 一人あれば、郷中皆その氣にうつり、百姓なか
 まの言事^{ごんじ}たえず、

公儀の御法度など背候^{そむ}えば、其ものを奉行^{ぶぎやう}

★名田（みようでん…先祖から代々受け継がれた田地）

無法もの（無法者…道理を外れたもの、無茶な者）